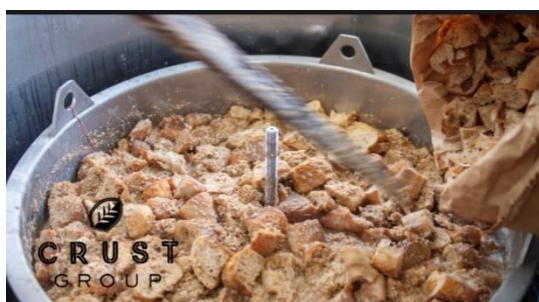


■2020 年度 主な進出企業



CRUST GROUP 社は 2019 年にシンガポールで設立され、食品ロスをアップサイクルするフードテック企業。2030 年までに世界の廃棄食品を 1% 削減することをミッションとしており、余った食材をビールや紅茶、サイダーなどの美味しい商品に変換する技術を開発・提供することで、飲料業界の持続可能性を高めることを目指し、SDGs に積極的に取り組む。

2021 年 2 月に、CRUST GROUP 社は大阪で行われた国際イノベーション会議「Hack Osaka」に参加し、その高い技術力、SDGs 取組みの志、更に大阪・関西で展開する潜在力が評価され、「O-BIC 賞」を受賞した。そして、大阪企業との商談や会社 PR などについて、O-BIC、IBPC 大阪からサポートされ、日本法人を設立し、大阪梅田にオフィスを構えた。また、日本市場への本格参入に先駆け、まだ食べられるにも関わらず廃棄される予定であったパンから生まれた「CRUST PILSNER」の先行販売を 2021 年 3 月 4 日(木)より「Makuake」にて開始した。今後も、大阪企業とのコラボレーション事業を進める予定。

CRUST JAPAN 株式会社
 (親会社:シンガポール
 Crust Group Pte Ltd)
 代表:代表取締役社長 ジム ファン
 所在地:
 大阪府大阪市北区角田町 1 番 12 号
 阪急ファイブアネックスビル GVH#5
 事業内容:食品ロスのアップサイクル技術開発・提供
 URL:<https://ja.crust-group.com/>
 設立:2021 年 3 月



Hack Osaka2021 における
 O-BIC 賞の選考・授賞光景